

# 環境カウンセラーちば

第58号  
 特定非営利活動法人  
 環境カウンセラー  
 千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省により認定された環境に関する専門家です。地球温暖化対策、廃棄物対策、環境教育・環境学習、環境経営など、お気軽にご相談下さい。

[冒頭挨拶]

## 2021年度環境カウンセラー千葉県協議会運営方針

理事長 吉田昌弘

「変異型コロナウイルス」が猛威を振るい、未だ終息の兆しが見えず、今年度も「三密」や「不要な外出制限」など、厳しい社会環境の中での組織運営になります。したがって、各事業の推進もかなりの制約を覚悟せざるを得ない状況にあるとの認識です。そんな状況下ではありますが、可能な限り Zoom 会議等を活用し先進的な情報なども取入れ、普及啓発活動ができるよう皆さんとともに頑張っていきたいと思っています、ご協力をお願いいたします。

### (1) 組織運営

6月1日現在の会員数は80名となっています。ひとえに、会員のみなさまのご協力の結果です。

長引くコロナ禍で、会員の皆さんとのコミュニケーションをとる機会もなかなか取れていませんが、このような状況にある時だからこそ、先輩会員が築いて来られた足跡に、若手の力を発揮して、新たな事に取り組んでいきたいものです。

あらためて、新規会員のお誘いと仲間づくりに、皆さんのご協力・ご支援をお願いする次第です。特に若手及び市民部門の女性の会員へのお誘いは、大歓迎です。

今、私たちの周りの環境が目まぐるしく変化しているように思います。現状維持に甘んずることなく、かつ、その潮流に遅れることなく、積極進取の精神を持ち、充足感を味わえる活動にしていきたいと考えます。

特に今年度は、「変化に対応でき、魅力ある活動」、「会員とそれぞれの地元自治体のニーズをくみ取り補完し合える活動」の中で、皆様と一緒に楽しく持続可能な組織運営に心掛けてゆきたいと思っています。

### (2) 事業推進

方針：菅内閣が、「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を宣言して以来、社会全体が大きなうねりになっている感があります。この潮流に呼応しながら、「私たちの(身近で)出来ることなど」をまとめ、自治体・市民のニーズに応え得る普及・啓発活動を実施していきます。

① 現組織の各部・センターは、EC千葉の強みを生かした活動の充実・拡充を図り、相互に補完しあい、横断的な活動を推進していきたい。また、各部門・センターはSDGsの考えを常に念頭に置き、ツールとして活用し、市民等への伝道師となれるよう浸透を図りたいと考えます。

② 個別のセンターについての要旨を以下に述べます。

- ・【EMS 支援センター】は、多くの企業、外部団体と密接に関連する活動で、当協議会において重要な事業です。セミナー・講習会などの確実な実行と参加者の拡大に努めます。なお、EA21の審査員は、是非EMSセンターに所属し、普及・促進の活動を支援いただき、「運営連絡会」を通し力量向上にも助力していきます。
- ・【地球温暖化対策センター】、【廃棄物対策センター】は、環境保全のテーマとして、最近とみに注目されて来ており、地元関係機関と連携した実効ある普及啓発活動を推進します。そのため、他センターと連携し、EC千葉一丸となって取り組めるよう、勉強会の充実や行政機関、自治体等への提言を行います。

- ・【環境学習センター】は、会員が自由に楽しく学び合える場を目指し、内容の充実を図りつつ、地方自治体・公民館・学校等への講師派遣活動を定着させると同時に、ニーズに応え得る力量アップと課題への提案拡充を図ります。
- ・【うちエコ診断】は、各種団体や自治体の助成金を原資とする事業として継続できるよう、地方自治体との連携・協力関係を構築します。なお、「実施機関 EC 千葉ネット」に所属登録の「うちエコ診断士」は、オンラインによる新しい診断システムをマスターし、受診者に信頼される診断を目指します。
- ・【水環境対策センター】は、「浄化槽啓発講習会」や「水環境体験教室」への講師派遣や講習会の継続・拡充を図ります。また、他のセンターと連携して、さらなる新規の顧客・共同取り組み先の開拓(MR)を目指します。

変異株コロナの終息予測がつかない現在、大多喜町や丸山川のイベント、諸々の計画業務(打合せ・研究会等)、自然観察会、自治体等の行事への参加、講演会と施設見学なども大幅に変更(中止や遅延など)を余儀なくされる可能性も残っておりますが、一日も早い全県民へのワクチン接種の完了を願いつつ、お互いマスクをはずすことが出来たその時を見すえながら、全会員とともにこの難局を乗り切っていく所存です。

会員皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

## 第19回通常総会 開催報告

第19回通常総会を2021年5月30日(日)に開催しました。

今回も、昨年に続いて新型コロナ感染対策のために、例年のように会員全員が一つの会場に集って開催することができませんでしたので、議決は書面による表決とし、同時にオンラインでの会議設けて、議事の進行・表決結果の速報を行いました。

また、このような方式での総会開催となったために、恒例の総会特別講演(環境セミナー)の実施は断念せざるをえませんでした。

会員総数81名のうち、71名が下記の議案に対し書面表決(第1~5号議案すべてを承認63名、委任8名)され、各議案とも原案どおり承認されました。

- (1) 第1号議案「2020年度事業報告ならびに決算報告」
- (2) 第2号議案「2020年度監査報告」
- (3) 第3号議案「2021年度事業計画案ならびに予算案」
- (4) 第4号議案 定款の変更(事務所の移転)
- (5) 第5号議案 役員を選任

第4号議案は、これまで國井前事務局長宅に置いていただいていたEC千葉の事務所を井町事務局長宅へ移転するために定款を変更するものです。これまで事務所を置かせていただいた國井様にあらためて感謝いたします。

第5号議案に関しては、議案書で提案された理事、監事の候補者が賛成多数で選任され、新しい役員に就任しました。(任期は次々回・2023年通常総会において次の役員が選出されるまでの約2年間)

(理事) 青木誠、秋葉信夫、阿部勳夫、井町臣男、瀧端尊史、河井恵子、國廣隆紀、草野信、小林亨、佐藤ミヤ子、橋本正、服部達雄、濱中道人、松村利治、見並勝佳、茂利晃、山畑祐哉、吉田昌弘 (以上18名)

(監事) 有馬富穂、戸村泰 (以上2名)

この役員改選を受けて、5月30日総会の後に開催した臨時理事会において、定款に従い理事長に吉田昌弘理事、副理事長に松村利治理事、山畑祐哉理事が互選されました。

続いて、運営細則に定める各役職を選任し、理事長から任命されました。

さらに、定款に定める顧問に上口清彦氏、荒野喆也氏、土田茂通氏が、アドバイザーに倉田智子氏、小関光二氏、佐藤素子氏、辻川毅氏、野口久氏が推薦され、理事長から委嘱することが承認されました。

## 特定営利活動法人環境カウンセラー千葉県協議会役員・役職一覧

[任期:2021年5月30日~2023年通常総会]

## 役員

## 理事(18名)

青木 誠	秋葉 信夫	阿部 勳夫	井町 臣男
瀧端 尊史	河井 恵子	國廣 隆紀	草野 信
小林 亨	佐藤 ミヤ子	橋本 正	服部 達雄
濱中 道人	松村 利治	見並 勝佳	茂利 晃
山畑 祐哉	吉田 昌弘		

## 監事(2名)

有馬 富穂	戸村 泰
-------	------

## 役職

理事長	吉田 昌弘		
副理事長	山畑 祐哉	副理事長	松村 利治
事務局長	井町 臣男	EMS支援センター長	山畑 祐哉
事務局次長	服部達雄	副センター長	青木 誠
		副センター長	服部 達雄
総務部長 兼総務担当	松村 利治	副センター長	濱中 道人
副部長兼経理担当	河井 恵子	副センター長	小林 亨
広報部長兼情報部長	見並 勝佳	地球温暖化対策センター長	橋本 正
副部長(HP担当)	秋葉 信夫	副センター長	服部 達雄
副部長(広報担当)	服部 達雄	副センター長	阿部 勳夫
		副センター長	國廣 隆紀
事業部長	見並 勝佳		
副部長(企画担当)	志澤 達治	廃棄物対策センター長	瀧端 尊史
副部長(エコ検定担当)	橋本 正	副センター長	國廣 隆紀
副部長(丸山川 PJ 担当)	見並 勝佳	副センター長	茂利 晃
副部長(大多喜町 PJ 担当)	國廣 隆紀		
		環境学習センター長	佐藤 ミヤ子
うちエコ診断実施機関責任者	吉田 昌弘	副センター長	草野 信
副責任者	佐藤 ミヤ子	副センター長	中村 仁
副責任者	中村 仁		
		水環境対策センター長	吉田 昌弘
ECU 担当	橋本 正	副センター長	久保田 隆
EA21 事務局担当	服部 達雄	副センター長	井町 臣男

## 顧問(3名)

## アドバイザー(5名)

顧問	上口 清彦	アドバイザー	倉田 智子
顧問	荒野 喆也	アドバイザー	小関 光二
顧問	土田 茂通	アドバイザー	佐藤 素子
		アドバイザー	辻川 毅
		アドバイザー	野口 久

## 環境マネジメントシステム支援センター 2020年度活動報告

環境マネジメントシステム支援センター（EMS 支援センター）の活動は、環境マネジメントシステムの普及およびその効果向上をとおして環境問題、最近では重要課題の一つである二酸化炭素排出量削減に貢献することを目指しています。具体的には、月 1 回の内部研修会および連絡会、外部に向けたエコアクション 21 普及セミナー、環境経営セミナー、および ISO14001 と ISO9001 の内部監査員養成講座を中心として活動しています。

しかし、新型コロナウイルス感染予防の観点より、7 月に予定していたエコアクション 21 普及セミナーや数回の研修会を中止せざるを得ず、計画通りの活動には至らなかった。

実施概要は次の通りです。

### (1) 企業環境セミナー

11 月 11 日に、千葉商工会議所様と共催で「環境経営と SDGs」と題して次のプログラムで開催した。

基調講演：「経営改善に役立つ環境経営とは」 JEMAS 理事長 小山富士雄様

事例紹介：日刊工業新聞社/松木喬様、(株)ハイパーリサイクルシステムズ/小笠原忍様

参加者は総勢 32 名。アンケート調査によると、参加目的は「EMS と SDGs のつながりを勉強」が最も多く、結果として「今後の会社経営にヒントを得た」との回答が多かった。

### (2) 内部監査員養成講座（於：千葉商工会議所ホール）

2020 年度の 5&6 月講座を 3 月に延期したものの、予定通りの回数を開催できました。外出自粛ムードのこともあって参加者数がやや少なめでしたが、反面、班別形式のワークショップでは密度の高い演習を行うことが出来ました。

・ ISO 14001 : 9 月 16・17 日（水・木）/10 人、 3 月 10・11 日（水・木）/8 人

・ ISO 9001 : 10 月 14・15 日（水・木）/9 人、 3 月 17・18 日（水・木）/9 人

### (3) その他の内部監査員養成講座への講師派遣

民間企業の 1 社に 1 日コース（ISO14001）2 回、千葉県職業能力開発協会に 2 日コース（ISO9001）2 回、1 日コース（ISO14001）1 回、講師をそれぞれ派遣した。

### (4) 内部監査員養成講座テキストのサブライセンス

都内の環境カウンセラー協議会に我々の講座テキストをサブライセンスし、講座開催とは全く異なる形で EMS の普及活動ができた。



企業環境セミナーの様子

広いホールでゆとりある座席配置



内部監査員養成講座演習の様子

フェースガードと仕切りで 2 重の飛沫飛散防止

### [2021 年度の計画]

2021 年度の計画は次の通りです。いずれも会場は千葉商工会議所ホールです。

詳しくは EC 千葉ホームページ、開催案内チラシをご覧ください。

・エコアクション 21 普及セミナー： 9 月 15 日（水）13 時より

・企業環境セミナー： 12 月 8 日（水）13 時より

・ISO14001 内部監査員養成講座： 6 月 16・17 日（水・木）、10 月 13・14 日（水・木）

・ISO 9001 内部監査員養成講座： 7 月 14・15 日（水・木）、11 月 25・26 日（水・木）

（文責：山畑祐哉）

## 環境学習センター 2020年度の振り返り

コロナに席卷された2020年、2021年に繋がる歩みを振り返ってみました。

“皆さんと会話する機会のない一年でした。

顔半分をマスクで隠し、不要不急の外出禁止・三蜜どころか仲間との会話さえも制限がかかった一年。余りに長期間に及んでいたからでしょうか、ショッピングセンターなどでは、あちこちに設置してある消毒液に見向きもしない方々の何と多いことか！ これでは変異株が増殖してもおかしくないなあ～とがっかりしたものです。

環境学習センターの行事では、自然観察会が今春以降に延期になってしまいました。こんな時だからこそ、自然の中で思いっきり心身の深呼吸をしていただけたらと模索してみたのですが残念です。計画した場所までの電車移動という三蜜も考えなければなりません。せめて今春にはとの祈りも空しく、コロナ禍の前に遥かかすんでいます。

そんな状況にありましたが、「相互研修・勉強会」は10回開催出来（別表参照）、延べ94名が参加くださいました。コロナ禍の中でも参集いただいた方々に心からの感謝をいたしております。

また、公民館等から要請の「市民向け講演・講座」も昨年は軒並み中止。しかし、そのような状況下にあっても、それぞれが集客等に工夫をされ、4件の講演・講座の要請をいただきました。各会場にお集まりいただいた、40名余りの市民の皆さんとの対話を通し、環境問題の共有化と個々の実践に繋がる願いを込めた時間を持つことが出来たように感じています。

更に今年度は、昨年中止になった講演を2日に分割し、再び講演のご依頼をいただいた所もあります。

### 2020年度 環境学習センター勉強会(相互研修)実施概要

EC千葉 環境学習センター

実施月	テーマ	概要
2020年 7月	コロナ禍に考える 食品ロスとその影響	コロナ禍による長期の自粛により、これまでの生活様式が様変わりする中、令和元年5月「食品ロス削減の推進に関する法律」が公布。国や地方自治体・事業者の変化の有無とコロナ禍を機に共に考える。
8月	ふるしき はエコ！	風呂敷は3RにおけるReuse、Reduceに合う伝統的な用具。何度も繰り返し使え、ライフスタイルを見直し、持続型社会への一歩に。使い捨てレジ袋に代わるエコバックになるふるしきの活用体験。
9月	オンライン授業	COVID19の影響で上期は90%程度の大学でオンライン授業になった。オンライン授業の教材作成、実施を体験した内容を報告。
10月	水素エネルギー今昔物語	水素エネルギーの起源から現在までの経過と実現間近の最近の課題(プロジェクト)について
11月	我が家の地球温暖化対策	草野家の庭木に集まる多様な生物の様子を、四季折々カメラ目線でキャッチした映像を交えた、楽しい草野家の緩和策・適応策・生物多様性保全を紹介。
12月	気候安全保障	気候安全保障の定義の整理、日本でまだ気づいていない気候変動のリスクの有無を検証した結果明らかになったことを勉強。国立環境研究所の研究情報の読み合わせ。
2021年 1月	環境にやさしいリサイクルシステム(3R)を活用した「プラスチック製敷板」が高評価。	「エコマークアワード 2015」にて(株)オオハシが銀賞受賞！環境にやさしいリサイクルシステム(3R)を事例に、二酸化炭素排出量の削減効果などの話。
3月	国際理解教育(前編)	JICA海外協力隊員の活動を通して、発展途上国の現状(歴史・生・農業活動等)を知り、課題に気づき考え、他を思いやる態度を養う。自分に出来ることを模索する機会にする。
4月	チバニアン以降のCO <sub>2</sub> 濃度と温室効果ガスの概算	チバニアン以降(77万年前～)CO <sub>2</sub> 濃度は300ppmを超えたことがなかったが、気温の上昇→海水温の上昇→海水からのCO <sub>2</sub> の放出の温室効果作用により更に気温の上昇(プラスのフィードバック)現象が見られる。(2020.12現在414ppm)
5月	国際理解教育(後編)	JICA海外協力隊員の実際の活動を通して、発展途上国の現状(衣食住・農業活動)を知り、課題に気づきを思いやる態度を養う。更に、周辺国の児童労働者の実態に触れる。

今年度、環境学習センターでは「相互学習・勉強会」などを学び合う中で、地方自治体等からの「市民向け講演・講座」の依頼にも応え得る力量アップと、会員の皆さんそれぞれに、充実感・達成感を味わっていただけるものになることを願っております。

コロナワクチンが行き渡りましたなら、今年こそ、気軽に参加いただき“また来たいね”と言っていただけの場を、会員の皆さんのご協力をいただきながら、一緒に創って行けたらと思っております。

また、今年はぜひ「自然観察会」も実施したいですね、皆さんからの後押しとご協力、お待ちしております。

(環境学習センター 佐藤ミヤ子)



## 2020年度うちエコ診断実施報告

### 「うちエコ診断のバトン渡し」～浦安市から千葉市へ～

2020年度は浦安市在住会員（松村さん）のご尽力とご協力により、また浦安市環境保全課の支援もいただき、13名の診断を実施することが出来ました。ありがとうございました。

2021年、そのバトンが千葉市にわたります。

今回の診断で強く印象に残った言葉、それは、“私はこれまで家電品を大事に使ってきました、買い替えたりすると電気料金が高くなるような気がしていたので、使い方もずうっと同じ使い方をしていて何の違和感も持ちませんでした。ましてや、CO2削減がこんなに可能だったなんて考えもしませんでした” “家に帰って、しっかりと診断結果等を読んで見ます”と楽しそうにおっしゃって帰られました。後日提出いただいた「事後調査票」では、CO2排出削減量2,115kg-CO2/年を出されました。（これまで、5年間の一件当たりのご家庭の削減量の平均946kg-CO2/年）。エネルギーの使い方を見直し、良いと思った事を行動に移された結果であると同時に、それは、うちエコ診断の目的を率直に捉えてくださった結果でもあると感じ嬉しく思いました。

今回は、受診された全ての方々からも同じような印象を受けました。

さて、2021年度は千葉市環境保全課（千葉市温暖化対策地域協議会）がそのバトンを繋いでいただけることになりました。

- ①主催：千葉市温暖化対策地域協議会（千葉市環境保全課）
- ②実施方法：対面診断+オンライン診断
- ③対象：千葉市在住、在勤の方
- ④申込期日：2021年7月3日～11月末日
- ⑤募集：「ちば市政だより」+「チラシ」

[https://www.uchieco-shindan.jp/touroku/regist0.php?jimukyoku\\_id=241](https://www.uchieco-shindan.jp/touroku/regist0.php?jimukyoku_id=241)

- ⑥問合せ：miyako\_sato\_1205@yahoo.co.jp（090-4190-6586 佐藤）

5月には、《2050年までの脱炭素社会の実現をめざした》【改正温対法】が成立しました。当然のことながら、家庭からのCO2削減もその一端を担って行くこととなります。千葉県内の自治体でも、「ゼロカーボンシティ」を宣言し地域の脱炭素化社会を促進するための取組みを始めています。

その側面からの支援になればと思い、「うちエコ診断実施機関 EC 千葉ネット」としても《ZOOM会議システム使用のオンライン診断》という初めての試みにも挑戦中です。本来の対面診断にプラスアルファのネット環境という要素が加わってきます。うちエコ診断士と実施機関が力を合わせ、より多くの受診者に満足いただける診断を目指し、研修を重ねている所です。

千葉市にお知り合いの方がおられたら、ぜひ一声かけていただけたら嬉しいです。

会員のみなさんの一声のご協力と、お力添えを心からお願い申し上げます。

「うちエコ診断実施機関 EC 千葉ネット」（吉田昌弘、佐藤ミヤ子）

## 水環境対策センター 2020年度の活動

### ◇水環境体験教室

小学生を対象として2019年度より取り組んでいる「水環境体験教室」(講習および実習)を昨年度は、3件実施することができました。

開催日	場 所	参加者
2020/9/25(金) 10:55~12:20	市川市立宮田小学校	4年生2クラス 76名および教職員5名 (総員81名)
2020/11/16(金) 8:30~12:10	野田市立みずき小学校	4年生4クラス96名および教職員7名 (総員103名)
2021/3/1(火) 14:00~15:40	市川市立国府台小学校・ 第一中学校・院内学級	小学生4名・中学生11名、教職員9名(看護 師2名含) (総員24名)

センター長上口講師による参加型講習は、水の形態(氷、水、水蒸気)からはじまり、地球上での水循環、家庭で水が使用される場所(トイレ、台所、風呂ほか)や水量と汚れの負荷量、微生物の働きにより下水処理場や個別浄化槽できれいな水になる仕組み、上水道や下水処理場の場所などをパワーポイントにより分かり易く学習。講師からの問いには、どの学校でも生徒の皆さん積極的に手をあげて参加。生徒さんが水環境に関しての知識が深く驚いた。各学校の計らいで、テキストを各生徒へ配られおり、生徒の理解向上の手助けとなっています。

実習では、副講師として久保田副センター長および井町副センター長が加わって対応。まず、トイレトーパーが水に溶けるかの問いに多くの生徒が解けると回答。そして、3名の生徒が選ばれていよいよ実験。棒でかき混ぜた結果は、水に溶けずに分散するだけ。生徒は溶けないことに驚きの様子であった。その後、砂糖・食塩が溶ける実験。お皿に付着した味噌汚れを洗う実験。水道水に含まれる塩素イオンの測定。最後は、身近にある飲み物(水道水・牛乳・コーラ・スポーツドリンク・麦茶など)のpH値を、簡易試験紙で生徒および先生全員で測定し、体験実習が終了した。生徒の皆さん楽しそうに、積極的に実習に取り組んでいた。お皿の味噌汚れを布で拭き取ってから洗って集めた排水と、汚れをそのまま流して集めた排水との汚れの差の実感、家に帰ってから生かされることと思います。

片付け終了後の懇談では、ご担当の先生から『人生の大先輩から生き方を学ぶことはとても大切で、本日の講習・実習は有意義でした』との温かいお言葉を頂いた。我々からは、『今後もこのような体験教室の開催を環境カウンセラーに依頼されるよう水環境対策センターとして最善を尽くします。』と返答。

最後に、コロナ禍でお忙しい中「水環境体験教室」を開催して頂きましたことを、各学校の教職員の皆様に深く感謝申し上げます。



### ◇水環境対策センターの活動

水環境対策センターでは、小学生を対象とした「水環境体験教室」と共に、千葉県環境生活部水質保全課水質指導室や(一社)千葉県環境保全センターと協同して「浄化槽啓発講習会」へ講師を派遣し、浄化槽の基礎知識、維持管理の必要性、法定検査の必要性などを総合的に学習できる場を提供しております。

さらに、将来の水質管理の在り方などSDGsと関連付けた持続性のある活動に取り組んでいきます。

会員の皆様で水環境へ関心がある方のご参加を歓迎いたします。

(文責・井町臣男)

## 地球温暖化対策センター

「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」勉強会への  
参加者募集

2020年10月26日・臨時国会の所信表明演説において、菅首相が「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言し、2020年10月30日に開催された地球温暖化対策推進本部会議において、2050年カーボンニュートラルに向けて「地球温暖化対策計画」、「エネルギー基本計画」、「パリ協定に基づく長期戦略」の見直しを指示されたことにより、2050年カーボンニュートラルへの国をあげての取り組みがスタートしました。

そして、2020年12月25日に開催された成長戦略会議に経済産業省を中心に策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が報告され、カーボンニュートラルへの取り組みイメージの具体像が示されたことで、それをマスメディアが大きく取り上げることになり、2050年カーボンニュートラルブームが巻き起り、今日に至っています。

この動きを受け、EC千葉・地球温暖化対策センターでは、公的ものから私的なものまで広範に発せられる情報を正しく理解し、日常の活動に取り入れてゆく基礎力を高めることを目的にして、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」勉強会を立ち上げました。

2021年5月26日に改正地球温暖化対策推進法が成立し、2050年の温暖化ガス排出量を実質ゼロにする目標が地球温暖化対策を推進する上での基本理念として規定されました。そして、その具体的施策の柱として市町村の役割と事業者へのコミットが明記されました。

この改正法は2022年4月の施行を予定していますので、今後県あるいは市町村において脱炭素促進事業の計画策定・事業推進や市町村の地域再エネ活用事業の策定などにおいて、EC千葉団体、また環境カウンセラー個人として役立つ場面が増加し、事業者への支援にも一層のレベルアップが求められることが予想されます。

現在、勉強会には21名の方に参加していただいています。情報の共有、意見交換を通して個々人のブラッシュアップに資するとともに、EC千葉団体として県・市町村へのお手伝いができるようになりたいと考えております。是非この機会に多くの会員の方にご参加いただくようご案内いたします。

[勉強会参加申込先] [ecchiba\\_carbon-zero\\_study@ecchiba.sakura.ne.jp](mailto:ecchiba_carbon-zero_study@ecchiba.sakura.ne.jp)

(服部達雄：地球温暖化対策副センター長/カーボンニュートラル勉強会担当)

## 総務部からのお礼

2020年4月～2021年3月の間に下記の方から当協議会へご寄付いただきました。  
ありがとうございました。

志澤 達司 様	25,237 円	青木 誠 様	24,000 円
井町 臣男 様	1,000 円	久保田 隆 様	1,000 円
上口 清彦 様	1,000 円	吉田 昌弘 様	1,500 円
佐藤 ミヤ子 様	1,500 円	中村 仁 様	8,082 円
國廣 隆紀 様	12,000 円	河井 恵子 様	13,500 円



## 新入会員紹介

### 小林 亨 (こばやし とおる) 習志野市

建設機械メーカーで環境/品質マネジメントの運営指導を担当し、現在は企業様向けのコンサルタントとして、環境/品質マネジメントシステムや業務改善のサポートをしております。また、コンサルタントの傍らISO規格認証の審査員も務めております。業務は、企業様向けのサポートが主体ですが、今後は、特にSDGsや他の環境問題等多くの活動に取り組むことで、協議会の発展に寄与したいと考えます。今後共、よろしく願いいたします。

### 中川 栄子 (なかがわ えいこ) 柏市

消費生活コンサルタント及び(一社)ふろしき研究会会員で、「ライフスタイル」や「環境」等をテーマとしている講座にて、講師を務めております。媒体としている風呂敷は、日本の文化や伝統そして先人の知恵を内在し、3RのReuseとReduceにも適う日本古来の用具で、私達消費者に環境に配慮したものや行動を選ぶヒントを与えてくれます。今後、更にこのことの発信に努めてまいりたいと思っております。何卒宜しくお願い申し上げます。

## 今後の行事予定

2021年 6月13日(日)	10:00~12:00	EMS支援センター定例会議	
	13:10~14:40	定例理事会	Zoomによるオンライン会議併用
	14:45~16:30	学習センター会議	
2021年 6月16日(水)・17日(木)	9:00~17:00	第34回 ISO14001内部監査員養成講座	千葉商工会議所14階第2ホール
2021年 6月26日(土)	10:00~16:00	第24回ふなばし環境フェア	ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館 (船橋市潮見町40番)
2021年 7月 4日(日)	10:00~12:00	EMS支援センター定例会議	
	13:30~14:30	定例理事会	Zoomによるオンライン会議併用
	14:45~16:30	学習センター会議	
2021年 7月14日(水)・15日(木)	9:00~17:00	第30回 ISO9001内部監査員養成講座	千葉商工会議所14階第2ホール
2021年 8月 1日(日)	10:00~12:00	EMS支援センター定例会議	
	13:30~14:30	定例理事会	Zoomによるオンライン会議併用
	14:45~16:30	学習センター会議	
2021年 9月15日(水)	13:00~17:00	エコアクション21普及セミナー	千葉商工会議所14階第2ホール
2021年10月13日(水)・14日(木)	9:00~17:00	第35回 ISO14001内部監査員養成講座	千葉商工会議所14階第2ホール
2021年11月24日(水)・25日(木)	9:00~17:00	第31回 ISO9001内部監査員養成講座	会場: 千葉商工会議所14階第2ホール
2021年12月 8日(水)	13:00~17:00	第24回企業環境セミナー	千葉商工会議所14階第2ホール

### 会員の皆様へのお願い

各行事について、実施の細目が決まり次第ホームページで案内しますので、ご本人はもとより知人・友人をお誘いし、ご参加くださるようお願いいたします。また、部・センターのメンバーになって、これらの行事の企画・運営にたずさわっていただける方を募っております。積極的なお申し出をお待ちしております。

広報 環境カウンセラーちば 第58号 (発行日 2021年6月15日)

発行：特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会 (責任者：広報部長 見並勝佳)  
(編集担当: 服部達雄)

事務局：〒273-0047 船橋市藤原 6-1-7

(E-mail) ecchiba-jimukyoku@ecchiba.sakura.ne.jp

(URL) <http://ecchiba.sakura.ne.jp/>

<年会費等の振込先> 郵便振替口座 00110-5-34692

(加入者名 NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会)